

海の子

R8年度テーマ

『「～合い」を大切に、自己との対話、他者との対話で自己実現』

苓北町立富岡小学校 学校通信

文責 木場 正敏

No.R8-11

令和8年10月5日

本日、通知表を配付しました。

本日、担任を通じ、前期の通知表を子どもたちにお渡しいたしました。校長として、全員の通知表にじっくりと目を通させていただきました。日頃の子どもたちの姿でも感じているのですが、改めて通知表にあったのは、日々の学習やさまざまな行事を通して、一人ひとりがしっかりと思いを重ね、大きく伸びてきた姿です。同時に強く感じたのは、担任の「目の前の一人を大切にしたい」という温かい気持ちです（手前味噌ですみません）。子どもたちの小さな努力や頑張り、その人ならではの良さを見逃さず、認め、励まそうとする担任・教科担当の眼差しが、記載された言葉の端々から伝わってまいりました。保護者の皆さまにおかれましては、日頃より学校教育に対して大きな期待と温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。通知表を通じて、子どもたちが「さらにこんなふうになりたい」「ここをがんばりたい」など、前向きな気持ちで後期を送れるようお声かけいただくと幸いです。

さて、いよいよ後期がスタートします。後期においては、学校生活の中で「思いやり」や「相手意識」を育み、「心の充実」と「学びの充実」を共に図っていきたいと考えております。周りを気遣う優しさや、相手の立場に立って行動する経験を通して、「自分は役に立っている」「ここにいて良いんだ」という「自己有用感」を一層高めていけるよう指導・支援を行ってまいります。

そして、後期を迎えるにあたり、校長として子どもたちに考え、身に付けてほしいと願っていることが二つあります。それは「寛容さ」と「しなやかさ」です。自分と異なる考えや価値観、あるいは人の失敗をも温かく受け入れる「寛容さ（広い心）」そして、思い通りにいかないことや壁にぶつかったときでも、折れることなく柔軟に立ち直っていく「しなやかさ（折れない心）」。

変化の激しいこれからの時代を生きる子どもたちにとって、この二つは自分自身を助け、他者と豊かに繋がっていくための大切な力となります。こうした子どもたちの可能性をさらに大きく伸ばしていくためには、学校と家庭との強い結びつきが不可欠です。今後とも手を携え、ともに子どもたちの豊かな成長を支えてまいりましょう。引き続いてのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

水俣、あしきたで学び、仲間と高め合った2日間 ～「水俣に学ぶ肥後っ子教室」・集団宿泊教室～

10月1日（木）～10月2日（金）に苓北町の4小学校（志岐小・坂瀬川小・富岡小・都呂々小）の5年生が合同で、「水俣に学ぶ肥後っ子教室」ならびに「集団宿泊教室」に行ってきました。子どもたちは、学校の垣根を越えて励まし合い、多くの大切な学びと経験を得て帰ってきました。今回の学習には、大きく2つの重要な意義があります。

①水俣から学ぶ「環境と命の大切さ」

水俣病の歴史や語り部様のお話、環境学習を通して、子どもたちは「命の尊さ」と「環境を守るための正しい行動」について深く考えました。自分

が使った水やゴミがどこへ行くのかを知り、「身近な生活から環境を守る」「差別や偏見を許さず、正しい事実を知る」という決意を新たにしました。

②町内4校の仲間と深めた「集団活動・絆の力」

苓北町の4つの小学校の5年生が一堂に会し、寝食や活動をともにしました。声を掛け合って時間を守る、後片付けを分担する、協力して目標を達成するなど、集団活動の基本を実践しました。最初は緊張気味だった子どもたちも、ナイトゲームや朝の集い、ビンゴオリエンテーリングなどの活動を重ねるごとに笑顔が増え、「町内の新しい仲間」として強い絆を結ぶことができました。この経験は、将来の中学校生活や社会に出てからの生きる力へとつながっていきます。保護者の皆様には、事前の準備や体調管理、あたたかい送り出しのご協力をいただき、本当にありがとうございました。この2日間で一歩頼もしくなった5年生の子どもたちです。

6年生の皆さん、ありがとう！
こんな気遣いが嬉しいです。

5年生が集団宿泊教室に行っていることを気遣った6年生の皆さんが、自分たちの掃除エリアに加え、5年生の掃除エリアまで頑張って掃除してくれていました。こういう気遣いはとてもステキです。ありがとうございます。嬉しくなりました。



苓北支援学校との交流及び共同学習

本校では、総合的な学習の時間の中で、年間を通して4年生が苓北支援学校と交流及び共同学習を行っています。2学期の交流及び共同学習は、富岡小学校から苓北支援学校に出向いての交流です。苓北支援学校のお友達のことを考えながら、どんな活動が喜んでくれるかを考えて、計画をしています。互いに相手意識を大切にしながら、アイデアを出し合いました。4年生が考えていたのはプラネタリウムと大きなすごろくです。私も両方体験させていただきました。すてきでした。ナイスアイデアです。今後さらに修正をしながら10月8日に苓北支援学校に出向いて交流及び共同学習を行います。ありがとう!4年生の皆さん。しっかり交流してきてください。

さて、最近「インクルーシブ教育」という言葉が、テレビや新聞等でもよく使われます。特別支援学校との交流及び共同学習は、このインクルーシブ教育の「共に学び、支え合う社会を作るための取組」の一環です。

インクルーシブ教育とは、「障害のある子もない子も、同じ地域の学校で共に学ぶ教育」です。活動と一緒にしながら、一人ひとりの得意・苦手や学習ペースに合わせたサポートを受けながら、お互いの違いを当たり前として受け入れ、尊重し合う心を育みます。「違いを認め合い、誰もが自分らしく生きられる社会」を子どもたちが体験を通して学ぶ大切な機会ととらえてください。苓北支援学校と連携を図りながら子どもたちの成長と安心を第一に考え、学校全体でサポートしていきます。



ご家庭での通信可能な電子機器及びSNSの活用について(お願い)

先日も文書(学校安全安心メール、紙媒体)及びHPでもお知らせしていますが、学校ではLINEを始めとしたSNSの使い方について、とても危惧しています。SNSの発達とともに、私たちの生活様式が大きく変わり便利になりました。私たち大人は、SNSがなかった時代から、その危険性も体験しながら少しずつ慣れてSNSを便利に使う術を身に付けてきたと感じています。しかし、子どもたちはどうでしょうか。身近にあって当たり前という中で、危険性を理解しないまま、「楽しいから」という理由だけで活用している面もあるのではないのでしょうか。

「相手の表情や声のトーンが見えないことによる誤解」や、「言葉のきつさによる傷つき」「悪気のない書き込みからの誹謗中傷トラブル」などに発展するケースも全国的にも年齢を問わず見受けられるようになっていきます。これからさらに、ネット社会は進展していくでしょう。だからこそ、**ネット社会の入り口に立つ小学生期こそ、ご家庭での見守りと「親としての関わり方の工夫」が何よりも重要だと考えています。**先日学校でも、全学年朝タイムの時間を活用して、子どもたちが加害者の立場にも被害者の立場にもならないよう、情報モラルの学習、SNSとの付き合い方についての学習を行いました。下学年は「伝え方」を中心に、上学年は「伝え方」に加え「SNSの使い方・・・間違った使い方をすると人を傷つけることがある」「個人情報の大切さ」ということを中心に話をしました。

以下のことを、今一度ご家庭で確認していただければと思います。

① 端末の利用に関する「家庭でのルール」の再確認

利用時間・場所の制限

② 個人情報や写真のアップロード・掲載の厳禁

③ 相手を思いやるコミュニケーションの心がまえ

(文字の向こうには「人」がいること)

④ 「おかしい」と思ったときは「すぐに返信しない」

「画面をスクショ(保存)する」「一人で抱え込まず、すぐに保護者や学校に相談する」こと

⑤ ご家庭での日頃の関わり、特に親子の対話と保護者の管理下で使用する

すでに文書を発出し、学校安全安心メール、HP等でも掲載していましたので、たまたまお会いした保護者の方々から、「家庭でも話し合いました。心配していたところですので、いいきっかけとなりました。」「SNSの使い方は、わたしたち大人も気を付けていかなければならないですね」などお声かけいただきました。子どもたちが安心・安全に学校生活を送り、豊かな心を育むために、保護者の皆様の温かいご理解とご協力をお願いします。



親の学びプログラム関連動画



【睡眠編】



【デジタル機器編】



【考えよう！
スマホとの距離】

2学期の行事の変更について

前々号で2学期の行事予定をお伝えしていましたが、一部変更があります。

富岡地区文化祭の日程が以下の通りとなります。

10月31日(土) 9:00-16:30

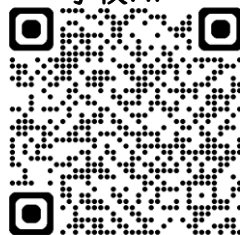
11月1日(日) 9:00-14:30

ご相談・ご心配ごとがありましたら、

気軽ににご相談ください。

- お子さんの健康に関すること(久永)
- お子さんの育ちに関すること(久永・小川)
- 学校での友だち関係の心配事(担任・小川・甲田)
- 学校のきまり等に関すること(小川)
- 人権・体罰・ハラスメント等に関すること(甲田・木場)
- 学校の教育活動全般(亀子・甲田)

学校HP



ホームページは、ほぼ毎日更新しています。子どもたちの学校の様子や地域との連携、先生たちの頑張りをお伝えしています。ご家庭での子どもたちとの団らんの材料に使っていただければと思っています。是非ご覧ください。